



# 日本福音教会連合 教会巡り⑫ 高松復活キリスト教会

高松復活キリスト教会  
牧師 川上新一



教会は、1986年4月、徳島でのフィンランドルーテル宣教会の6年間の奉仕を終えて、開拓伝道の導きを受けて、祈りつつ準備をしていたところ高松市への道が開かれました。知人も友人もいない全く始めからの開拓伝道でした。徳島よりワゴン車で市内を回り教会のないところを探し、高松町、市の東部に一戸建中古住宅を見つけ借りることにしました。何度か住宅を探しながら車の中で泊ったこともあります。家族4人で引

越し、仕事をしながら伝道を開始しました。高松町は住宅地にあり、小学校、中学校、保育所など近くにありとても便利な場所です。2人の子どもも幼つたため、すぐに近所の子どもと親しくなり友だちが出来ました。訪問で知り合った方、子どもの友だちのお母さん方を教会に導くために婦人の聖書の学び会をスタートしました。倉敷の久松政一先生を講師に迎えてわかりやすく楽しく集会をコース別にして学びました。又、子育てについて、義姉の神戸保育専門学院長の川上ミドリ先生を講師に迎えて広く各教会に呼びかけて行いました。その他親子キャンプを毎年夏に、自然の家などをかりて、紙芝居ゲーム、川遊びなどを行った。子どもが成長して大きくなってくると子どもたちも来なくなってしまう、ここ何年間教会学校が開いていません。公園に出かけて紙芝居をしましたが時間的な問題もあり長く続きませんでした。高松町での借家も狭くなり、広い住宅を探し祈っていたところ、



南へ500m離れたところに2階建の43坪の1700万円の住宅を購入することにしました。銀行ローン、信徒の借入金、義父からの借入金で10年返済計画を立てました。3年前に全て完済し、主に感謝しました。現在地の新田町は水田などが多くあり、古い因習の残っている所です。最近住宅化が進み団地が多くなっています。牧師夫妻とも働いているために、十分に教会活動ができていません。職場の帰りにマッシュン、アパートにトラクト配布、礼拝案内を配っています。超教派の働きとして異端対策の、エホバの証人などの予防トラクトを配布しています。又、香川信教の自由のつどいに委員として協力している。8月に元明

治学院院长中山弘正先生を迎えて講演会をしました。3年前四国聖化交友会が発足し、5月に小林和夫先生を迎え、大会とセミナーを開きました。四国ホーリー、バンドの幻が与えられています。将来的に

## 神学校における燭火礼拝

江尾 教会  
牧師 稲田敏朗

クリスマスと言えば、かつて読んだ「ニューヨーク・タイムス」の記者が記した社説のことを思い出します。ヴァージニアという少女が、「サントクロースはいるのでしょうか」という質問を投書したのです。小学生の彼女は、サントクロースはいると主張したのですが、同級生はいないと言うのです。この投書を受けた記者は、「この世には、愛や思いやりといった、目には見えないけれども確かに存在するものがあるのです。それと同じように、サントクロースも確かに存在するので、「そうです、ヴァージニア、サントクロースはいるのです。」この社説は大きな反響を呼び、その後、この文章は様々なところで取り上げられ、クリスマスの名文の一つとなった。と言われています。

はフルタイムで伝道牧会ができること、礼拝の充実、各自の信仰の成長を祈っています。ウエスレーは、聖潔と幸福、すなわち被造物の我々の魂のうち神の像が再び刻み込まれることであると言っている。

ある日のことでした。机の上一枚の「メモ」が置かれていました。「今年のクリスマス礼拝の司会をお願いします。」と記された生徒会長からの「メモ」でした。礼拝に先立って事前に決まっていた事は、工藤弘雄校長先生(当時)が取り次がれる聖書の箇所と、金井めぐみ先生(当時)舎監、金井由嗣先生の奥様)のお証が決定済みで、その他の企画は、すべて生徒会と司会者に任せられていたのです。先輩の温かいご指導のもとに、讃美歌の選曲、祈禱者、聖書の拝読者など一つ一つを決定し本番に備えたのです。やがて当日の夜がやって来ました。厳かな燭火礼拝が静

## いのちの雫

箴言を読む  
鴻南福音教会  
牧師 阿部 俊昭

箴言2・6これは、主が知恵を与え、知識と悟りとは、み口から出るからである。最近私は、デイポーションの時、箴言を実際に声に出して朗読をしています。聖書の時代にとどまらず、最近に至るまで本を読む、特に聖書を読む、ということは、実際に声を出して朗読することが一般的でした。箴言は、旧約聖書の中でも、独特な文学作品のひとつです。実生活に照らされた事例で、神様と共に歩む者としての示唆が語られています。信仰に立った生活が、理屈ではなく、その情景を容易に思い浮かべることが出来るものとして表現されています。更にそれは、毎日の生活の中に神様は関わって下さり、深い恵みと戒めを与えようとしておられることに気がつかされるのです。驚いたことに、この習慣を始めたころから、より日々の

かに始まりました。定められたプログラムにそって、厳かな礼拝が進んで参りました。すると、突然、舎監の金井先生が、スーッと近付いて来られ、「工藤先生が聖書の拝読とお祈りは、上の講壇で行なうように仰っています。」と短く告げられたのです。司会者の席がいきなり大講堂の聖壇に変わったのです。本当にびっくり致しました。

W・パークレーは、「わたしは、セント・アンドルーズ

## クリスマスのたのしみ

益田福音教会  
牧師 中島 政幸

イエス様を信じる前のクリスマスを楽しむといえば、サンタクロースのプレゼントとクリスマスケーキでした。

25日クリスマスの朝に枕もとに置かれる袋の中に何が入っているか、自分の願いが聞かれたかは、大変な興奮と喜びの時でした。もちろんサンタが親ではないかとの思いは小学校半ばからありながらも、親にプレゼントは何がいいかをそれとなく言っていたように思います。それが小学高学年ころデパートに連れて行かれ「何がほしいか選びなさい。」と言われた時「ああ、



サンタはいなくなつたんだ

の大学チャペルで説教したときの、またわたしが立った説教壇はかつてジョン・ノックスのものであったことを聞かされたときの感激を、けつして忘れることができない。」と語っています。

かつて名だたる先生方がお立ちになった聖壇に、その夜確かに立たせて頂いたのです。それは誇りではなく、生涯忘れ得ぬ感動なのです。

栄光はいつも主のものなのです。

と大変寂しい思いがしました。たとえサンタが親であったとしてもサンタクロースにはいつまでもいてほしかったのが本音でした。そのため、クリスマスを楽しむはクリスマスケーキだけになりました。4人家族でしたので、いつもケーキは4分の1。ケーキが好まなかった私はいつも1個まるまるいつか食べたいと思っていました。働きたてて車やビデオ、ステレオと多くのローン地獄の中、結局夢は夢のまま終わってしまいました。

今あの頃の夢をもう一度と思っても、さすがに今は4分の1でもう十分。食べられない事にショックと見果てぬ夢に体のついていかない現実。無理をすれば食べられないこともないと思いがら家内から「健康を考えなさい。そんなに食べてどうする」の一言。友達に連れられて10月ころ行き始めた教会。すぐやめようと思いがらクリスマス劇のために結局教会に行き続けたクリスマス。しかし降誕劇の兵士の役として作った手作りのマンツの裏地がサテンの赤だったことから牧師が一言、「この赤を表にすればいいのに」たまにひるがる裏の赤がチャリと見えるそのイキがわからない……

神学校のクリスマス。奉仕教会が遠いと日直を当てられ留守番。ほとんどの学生が奉仕教会か、知っている教会へ行く中、初めて一人ですぐクリスマスなのと……マツチ売りの少女の気持ちかわかったようなクリスマス。

牧師になり自分が楽しむク

## クリスマスにおもう

岡山勝栄基督教会  
牧師 太田 正信

生まれて初めてクリスマスをお祝したのは、今から四五年前の徳島聖徒教会でのクリスマス祝会でした。それは十八歳の秋(十月五日、月)母を心不全で失って、「人は何のために生きるのか、何故死があるのか、人は死んだらどうなるのか」の人生の根本問題に解答が得られず、苦悩の中、教会に導かれて(十一月)一カ月余りの事でした。

クリスマスその頃は、聖書から明快な解答を得て、洗礼は受けてはいませんでした。が、クリスチャン?の様な意識(顔?)をしていたのか、赤い帽子と上下服を着せられてサンタクロースをして「ベツヘレムからやって来ました」と解った様な解らない様な言葉を発してプレゼント交

クリスマスから、祝会は、司会は、出し物は、プログラムは……とにかく今はクリスマスは無事乗り切り、参加した方々が楽しかったと思える事だけを考えるクリスマスに。

もう一度、教会へ行き始めたころのクリスマスがしたいと思う今日このごろです。

換?の品々を配布しました。キリスト教や教会とは全く関係のない家庭に生まれ、育ちましたが小学生の頃、テレビで「走れチエス」と言う名馬を中心としたアメリカのクリスチャンホームドラマの影響などで心底には、クリスチャンホームへの憧れがあったと思います。

その様な背景の中、牧師家庭(当時は、ご夫妻と三歳女兒)と一週間位?生活を共にさせて頂いたり、教会の交わりで独特の雰囲気、暖かさなどを体験させて頂きました。

そして、生活の全領域、どの様な中にも「神の現実」を見せて戴いた事は人生の土台となる大きな祝福でした。

クリスマスシーズンになりますとキリスト教、教会に関

祈りが身近なものとして献げられるようになってきました。毎日の生活で、これは神様がどのように思われるのだろうか?のような導きがなされるだろうか?そのような期待がどんどんふくらんでくるのです。

また、みことばの朗読の大きなメリットとして、自分の声で自分の耳に語りかける。自分の声によるみことばの宣言・箴言を中心とした礼拝、など色々な恵みを体験することが出来ます。しかし、最も不思議なことは、見ることにできない、確実に行われる神様の働き、というものが自分の周りに起こってくるのです。みことばが実際に語りかけてくることを体験しました。

自分であれこれと模索したり、参考書を読むことでは知ることのできない深い聖書の奥義が、実生活の中にとけ込んでくる恵みです。

時代を超えて語り掛けられる日常の知恵と霊性は、ここに豊かに溢れています。箴言に限らず、ゼひと、み言葉の一つ一つを、朗読を持って味わうことをお勧めしたいと思います。

係なく現代の日本社会は、クリスマス一色になります。街も個人の家庭もイルミネーションで美しくクリスマスが演出されます。また、クリスマスツリー、クリスマスケーキにクリスマスプレゼントと豊

かな日本を象徴する風習となつています。聖なる神の御子が、私たちと同じ人となって人間社会に来て下さった事、このクリスマス、この真の意味を全ての人々に知って戴きたいと思ひます。

## 関東聖会報告

富士見望キリスト教会

牧師 鶴沼君子

関東地区の聖会は、9月23日(秋分の日)に多摩キリスト教会で行われました。例年一泊二日の日程で行なつていましたが、今年初の試みで一日(午前は聖会・午後は信徒交流会)に致しました。全体のテーマは「聖霊が造られる共同体」、み言葉は「そして一同ひたすら、使徒たちの教を守り、信徒の交わりをなし、共にパンをさき、祈をしていた。」(使徒行伝2章42節)午前・「主にある新しい関係を求めて」と題して、司会・鶴沼君子師、メッセージ・加藤信治師が御用をされました。聖会前に賛美のコーラスをバックに始められました。多摩キリスト教会の聖歌隊の賛美もあり、み言葉への心備えをしました。メッセージは、ペントコステ「聖霊が下った日」



によって教会は最初の共同体、聖霊が造って下さったと、初代使徒教会の使徒の働きから語られた。教えを守る事を喜びとし、新しく加わった人々と交わりをし、主イエスが共

にパンをさかれたように行い、心を合わせて祈った、家族以上に喜びを分け合い、救しその結果、聖霊が注がれて新たな関係が始められました。共同体であるからこそ親密になり心からの信頼関係も築かれたのであります。実に聖霊が形造って下さったのであります。聖霊のみ業は継続されています。先生自身のお証も含まれました。癒しのセミナーに出席され心の奥まで取り扱われ、牧師の子供として葛藤がありました。そこで心が開かれ聖霊に導かれ悔い改めの祈りにより、新たに立ち上がる力を与えられました。主の復活の力を頂きました。喜びの恵みを語られました。尚続いて聖霊が働かれる事によって御霊の実を結ぶ(ガラテヤ5章22・23節)教会の共同体の一人として、日々新しい主にある関係を求めて共に教会を建てあげましょうと結ばれ、一同祈り合いました。兄弟姉妹が御霊によって一致し賛美と感謝を捧げました。昼食は兄弟姉妹のもてなしにより韓国風の食事をいただきました。午後・信徒交流会は司会を多摩キリスト教会の盧聖煥長老が受け持って下さり、共に祈り賛美し合い、聖泉キリスト教会の聖歌隊も賛美して進められました。各教会の

紹介、自己紹介、その中から代表して一名ずつお証をして頂きました。ご自分の体験からしみ出るみ言葉、信じて祈った喜びをお話し下さり、御名を崇めました。大雨の中主は恵みの雨に変えて下さいました。大人、子供合わせて70名の出席でありました。主にあって一つにされた幸いな聖会を持つ事が出来感謝でした。一日ではありましたが主の恵みに満たされました。

## 報告・案内

- ◆湘南教会(加藤信治牧師)の中西恵子姉(55歳)は、七月十九日(月)愛する主の御許に召されました。ご遺族の上に主の慰めをお祈り致します。
- ◆熊毛キリスト教会(石井敬子牧師)では、七月二五日(日)、十月三日(日)の礼拝は、瀬孝宣先生(大内福音教会牧師)
- \*八月二七日(日)の礼拝は、阿部俊昭先生(鴻南福音教会牧師)
- \*九月十九日(日)の礼拝は、藤村治先生(下松めぐみ教会牧師)がご用されました。
- ◆岡山中央基督教会(倉賀野攻牧師)では、九月五日(日) 柏木哲夫先生(金城学院大学学長)をお迎えして特別集会をされました。
- \*十月十七日(日)の礼拝後、中西俊二兄、代志子姉、俊彦兄、智久兄の転入会式をされました。
- ◆高知福音教会(郷千恵子牧師)の細川誠人兄と柴山唯姉は、八月二一日(土)結婚式を挙げられました。おめでとうございます。
- \*八月二九日(日) 瀬孝宣先生をお迎えして伝道礼拝をされました。
- \*八月二九日(日) 谷昭二兄の洗礼式が行われました。おめでとうございます。
- ◆関東地区協議会主催の関東聖会が、九月二三日(木)多摩キリスト教会で開催されました。\*詳細は、報告記をお読み下さい。
- ◆大野伝道所(佐々木寛治牧師)では、十月三日(日)午後二時から倉賀野政理事長によって礼拝堂献堂式が行われました。おめでとうございます。
- \*十一月二一日(日) 東京山谷の「さほうのいえ」チャレン、堀之内豊先生をお迎えして、特別伝道集会をされました。
- ◆十月十二日(火) 岡山中央基督教会で行われました、日本福音教会連合理事会で二〇一一年度の連合の御言
- は、「イエスを仰ぎ見つつ、走ろうではないか」(ヘブル十二章二節)ときまりました。各教会の聖句もその様にお願ひ致します。
- ◆米子キリスト教会(倉賀野攻牧師兼牧)の立脇弘造兄(76歳)は、十月二一日(木)愛する主の御許に召されました。ご遺族の上に主の慰めをお祈り致します。
- ◆十月二五日(月)の日本福音連盟理事会には、倉賀野政先生、太田正信先生が出席されました。お祈りを感謝します。
- ◆関東地区協議会の牧師会が十一月八日(月) 聖泉キリスト教会で行われました。
- ◆十一月十六・十九日(火・金) パルナ福音宣教会主催の日本牧会者リーダーシップセミナー2010 in Koreaに、鄭順葉先生(多摩キリスト教会牧師)、三浦愛先生(聖泉キリスト教会牧師)、阿部俊昭先生(鴻南福音教会牧師)、渡辺隆先生(徳山キリスト教会牧師)、太田正信先生が参加されました。
- ◆二〇一一年度、日本福音教会連合第一回理事会が、二月十四日(月) 午後五時から十五日(火) 午後五時から岡山中央基督教会で行われます。お祈り下さい。